

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
小浜市	今富地区 野代	平成29年10月	令和3年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	26	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	25	ha
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	23	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	6	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0	ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	12	ha

2 対象地区の課題

(1) 現状・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・本地域は小浜市南部に位置し、二級河川南川沿いの平野に農地が形成された地域である。 ・本地区は兼業農家が営農の中心となっている集落であり、農業者の高齢化が進んでいる。また、若年層の農業に対する意識の低下も見られ、後継者の確保に危機感が芽生えている。 ・担い手が耕作する農地は、集積・集約化が進んでおらず分散錯圃の状態である。 ・農地は昭和30年頃に土地改良が行われ、1枚辺り10a規模の農地が形成されているが、現代の農業機械に対応した面積ではなく、効率的な営農を行うことが出来ない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・集落の担い手である個人6名（池田雅史、岡田昌樹、仲井宗男、古田清和、古田九一郎、古田博久）、1法人（若狭こすもかんとりー）を中心経営体として位置づけ、集落の農地を集積・集約していく。
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

(1) 農地の利用調整と農地等の地域資源管理の最適化
<ul style="list-style-type: none"> ・集落の農地・環境を保全する多面的機能支払交付金の活動組織である（一社）悠久の里野田井が、農地の保全管理や景観形成だけではなく、地区の農業の課題（農地の利用調整、条件不利地の維持管理、地域集積協力金の有効活用等）に持続的に取り組む。
<ul style="list-style-type: none"> ・（一社）悠久の里野田井が、農地中間管理事業を活用した農地集積を行うとともに、地区の農地利用を調整し、担い手への農地集積や規模拡大等を支援する。
(3) 耕作条件の改善
<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業を活用した農地集積で得られる機構集積協力金を活用して、土地改良事業（耕作条件改善事業）による畦畔除去を行い、区画拡大による耕作条件の改善を図る。